

ぷらら法人サービス/学校サービス
ご利用のための
はじめての接続ガイド
～メール編～



株式会社NTTぷらら

2010.08 現在

目次

◆メール手動設定.....	3
◆メール自動設定(メール自動設定ツール – Outlook Express–)	4
◆メール自動設定(メール自動設定ツール – Outlook 2007–)	5
◆メール自動設定(メール自動設定ツール – Windows メール–)	8
◆ウイルスチェック.....	10

- Microsoft、Windows、Microsoft Internet Explorer、OutlookExpress は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。
- 本ガイドに記載されている内容・画面等は、2010年8月現在のものであり、それらは予告なく変更されることがあります。

◆メール手動設定

メールソフトの仕様や機能等につきましては、各製造元にお問合せいただきますよう、よろしくお願いいたします。

	ぷららドメインで利用	独自ドメインで利用
電子メール送信者	任意の名前(会社名など。例 PLALA)	
メールアドレス	例 test@*****.plala.or.jp	例 test@abc.co.jp
メールアカウント	例 test@*****.plala.or.jp	例 test@abc.co.jp
POP アカウント (MacOS の場合)POP アカウントは MacOS 特有の設定情報です。	例 test@*****.plala.or.jp	例 test@abc.co.jp
メールパスワード	ぷららからお送りしたメールサーバ用ログインパスワード	
受信メールサーバー (POP3/POP)	bzmail.plala.or.jp	
送信メールサーバー(SMTP)	bzmail.plala.or.jp <ul style="list-style-type: none"> ● SMTP AUTH+サブミッションポート(port587)の設定方法 ● SMTP over SSL(STARTTLS)+サブミッションポート(port587)設定方法 	

◆メール自動設定

メール自動設定ツール - Outlook Express-

本ツールは、メールソフト Outlook Express 6 にてお客様のメールアドレスとパスワードをご入力いただくことでメール送受信に必要な環境設定を自動で簡単に行うことができます。

サブミッションポートと SMTP AUTH 設定に対応しています。

※パスワードが 16 文字以上の場合は、15 文字以内に変更必要

■動作環境

対応 OS	Windows XP Windows 2000
対応ブラウザ	Internet Explorer 6
メールソフト	Outlook Express 6

▼Outlook Express を終了してからご利用ください

メール自動設定ツール - Outlook Express -
メール自動設定を開始する

https://web2.plala.or.jp/cgi-bin/mail/mail_auto/index.cgi

▼設定項目

http://ex.secure-service.net/oe_auto/list.html

▼ヘルプ

http://ex.secure-service.net/oe_auto/help/index.html

■ご利用上の注意

※平成 15 年 7 月 16 日以前に新規登録された一部の会員さま (POP/SMTP サーバに「***.tky.plala.or.jp (*** はメールサーバ名)」を設定) の設定には対応していません。

※ビジネスサーバシリーズの設定には対応していません。

■メール自動設定ツールの流れ

1. メールアドレス、メールパスワードでログインします。

メールアドレスとメールパスワードを入力し、

「次へ」ボタンを押してください

2.送信者名を入力します。

「送信者名」にあなたの名前を入力して下さい。

この名前は、送信メールの[送信者]のフィールドに表示される名前です。

3.設定完了です。

設定が完了しました。メールがご利用できる状態になりました。

メール自動設定ツール - Outlook 2007-

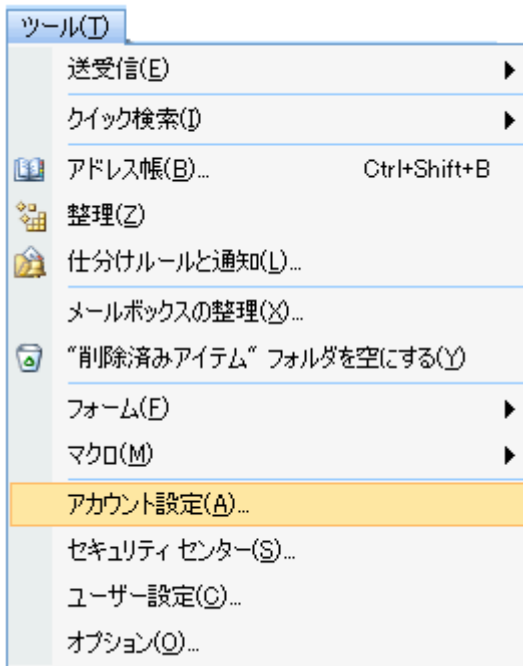
本ツールは、メールソフト Outlook 2007にてお客様のメールアドレスとパスワードをご入力いただくことでメール送受信に必要な環境設定を自動で簡単に行うことができます。
サブミッションポートとSMTP AUTH設定に対応しています。

■ご利用上の注意

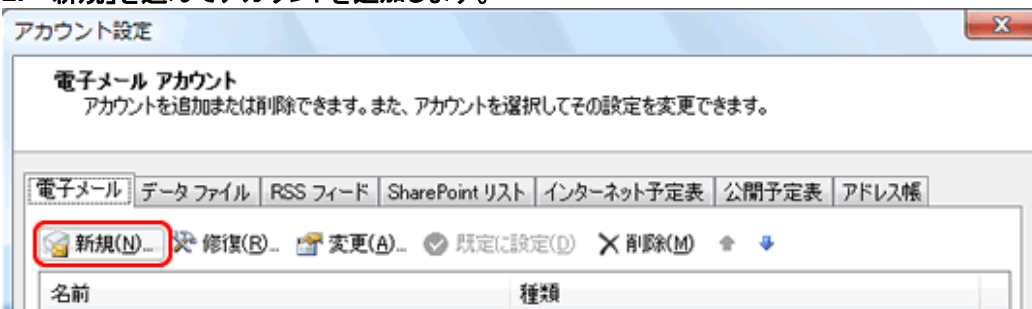
- 送信・受信用のサーバはドメイン名を元に、ドメインごとに用意させていただいているサーバを自動設定します。送信ポートはサブミッションポート(587番)、受信ポートは110番になります。
- 平成15年7月16日以前に新規登録された一部の会員様(POP/SMTPサーバに「***.tky.plala.or.jp(****はメールサーバ名)」を設定)の設定には対応していません。
- ビジネスサーバシリーズの設定には対応していません。

■ ご利用方法

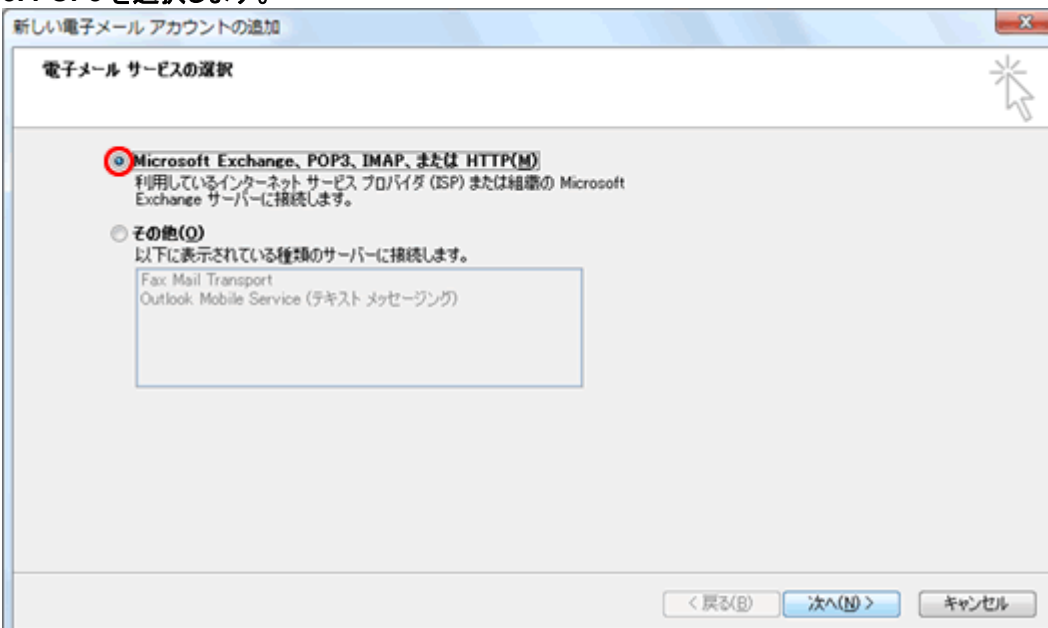
1. Outlook2007 を立ち上げ、「ツール」から「アカウント設定」を選択します。



2. 「新規」を選んでアカウントを追加します。



3. POP3 を選択します。



4. 名前と、メールアドレス、メールパスワードを入力します。

新しい電子メール アカウントの追加

自動アカウント セットアップ
[次へ] をクリックすると、電子メール サーバーに接続して、インターネット サービス プロバイダまたは Microsoft Exchange サーバーのアカウントの設定を行います。

名前(Y): 例 Eiji Yasuda

電子メール アドレス(E): 例 eiji@contoso.com

パスワード(P):

パスワードの確認入力(C):

インターネット サービス プロバイダから提供されたパスワードを入力してください。

サーバー設定または追加のサーバーの種類を手動で構成する(M)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

5. 自動設定中の画面です。

新しい電子メール アカウントの追加

サーバー設定のオンライン検索...

構成中

電子メール サーバーの設定を構成しています。この処理には数分かかります。

- ✓ ネットワーク接続の確立
- ▶ xxx@xxx.plala.or.jp サーバー設定の検索
- サーバーへのログオン

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

6. 「許可」ボタンを押し、ぶらら作成の Outlook2007 自動設定ツールへのアクセスを許可してください

Microsoft Office Outlook

🔒 xxx@xxx.plala.or.jp の設定のために、この Web サイトにアクセスすることを許可しますか？
https://web2.plala.or.jp/autodiscover_outlook/xxx/cgi-bin/autodiscover.xml

発行元の身元を確認済みで、信頼できる場合にのみ許可してください。

この Web サイトについては今後このメッセージを表示しない(D)

許可(A) キャンセル(C)

7. 自動設定が完了しました。



▼設定項目

http://ex.secure-service.net/ol_auto/list.html

メール自動設定ツール - Windows メール -

本ツールは、メールソフト Windows メールにてお客様のメールアドレスとパスワードをご入力いただくことでメール送受信に必要な環境設定を自動で簡単に行うことができます。
サブミッションポートとSMTP AUTH 設定に対応しています。

■動作環境

対応 OS	Windows Vista
対応ブラウザ	Internet Explorer 7
メールソフト	Windows メール

▼Windows メールを終了してからご利用ください

メール自動設定ツール - Windows メール -
メール自動設定を開始する

https://web2.plala.or.jp/cgi-bin/mail/mail_auto/osselector.cgi

▼設定項目

http://ex.secure-service.net/wm_auto/list.html

▼ヘルプ

http://ex.secure-service.net/wm_auto/help/index.html

■ご利用上の注意

※平成 15 年 7 月 16 日以前に新規登録された一部の会員様 (POP/SMTP サーバに「***.tky.plala.or.jp(**** はメールサーバ名)」を設定) の設定には対応しておりません。

※ビジネスサーバシリーズの設定には対応しておりません。

■メール自動設定ツールの流れ

1.メールアドレス、メールパスワードでログインします。

メールアドレスとメールパスワードを入力し、
「次へ」ボタンを押してください

2.送信者名を入力します。

「送信者名」にあなたの名前を入力して下さい。
この名前は、送信メールの[送信者]のフィールドに表示される名前です。

3.設定完了です。

設定が完了しました。メールがご利用できる状態になりました。

◆ウイルスチェック

お客様の送受信メールに対してコンピュータウイルスの検知および削除を自動的に行うサービスです。

お客様のコンピュータにてメール受信する前に、ふららのサーバ上でウイルスチェックを行い、ウイルスが検知された場合は自動的に削除されますので安心してメール受信を行うことができます。

また、送信メールもウイルスチェックすることで、誤ってウイルス付メールを送って送信先に迷惑をかけることがなくなります。



■ご利用料金

初期費用無料

210 円／月 1 メールアドレス (税抜価格 200 円)

※お支払いはご契約いただいているインターネット接続サービスと同じお支払方法になります。

※法人さま向けサービス(事業者間取引)の性質上消費税額を含んだ表示ではありません。上記金額に消費税相当額を加えた料金をお支払いいただきます。

※ご契約形態によってご請求方法は異なります。(→<http://biz.plala.or.jp/entry/payment/index.html>)

■お申し込み方法

法人会員未加入の方お客様は、入会の手続きと同時にお申し込みください。

▼入会案内へ

<http://biz.plala.or.jp/entry/index.html>

▼オンラインでお申し込み

<http://biz.plala.or.jp/entry/online.html>

▼郵送でお申し込み

http://biz.plala.or.jp/support/dl_sheet_entry.html

■ご利用上の注意

● 送信メールのウイルスチェックは SMTP AUTH の仕組みにより行います。対応するメールソフトにて SMTP AUTH の設定をしてください。

SMTP AUTH の設定

▼メール自動設定

http://biz.plala.or.jp/storage/pdf/ml_auto.pdf

▼メール手動設定

http://biz.plala.or.jp/storage/pdf/ml_manu.pdf

- SMTP AUTH に非対応のメールソフトをご使用の方は、ウイルスチェックをご利用いただけません。
- ウイルスチェックをご契約していても、SMTP にて送信を行っている方はウイルスチェックが機能しません。
- ウイルスチェック for Business をご利用のメールアドレスは、分割メールを送受信できません。

- ご契約は1メールアドレス単位でお申し込みいただけますが、ご契約アドレスの送受信のみ、ウイルスチェックの対象となります。送信元(From)が契約アドレスではない場合、ウイルスチェックは機能しません。ご契約の全メールアドレスについて、一括でお申し込みされることをおすすめいたします。
- 現在ご契約のメールアドレス一覧については、「ご契約サービス照会(<http://biz.plala.or.jp/support/onlinesupport/index.html>)」でご確認いただけます。
- 本サービスは、全てのウイルスの検知および削除を保証したものではないことについて予めご了承ください。
- ウイルスチェックにより削除された受信メールの添付ファイルは修復できませんのであらかじめご了承ください。
- その他メールオプションサービスと合わせてご利用いただく場合の優先順位については[こちら](#)をご覧ください。
- ウイルスの感染経路はメール以外にも CD-ROM やダウンロードファイル等多数あります。本サービスの導入に加え、ウイルスチェックソフトの導入による自己防衛をお勧めします。
- メール本文にウイルスが含まれている場合について
 - ・送信者が、ウイルスチェック forBusiness 契約者の場合
→受信者宛のメールは削除されます。
 - ・受信者が、ウイルスチェック forBusiness 契約者の場合
→メール本文に検出可能なウイルスが含まれている場合、メール本文よりウイルス削除のうえ、メッセージの挿入が行われ受信者宛にメールが送信されます。
 - ・テキスト部分(メール本文)にウイルスコードを持つ場合等、ウイルスのみの削除が行えない場合
→メール本文は削除され受信者に送付されません。

■ウイルス削除時の通知内容について(メールサンプル)

送信者宛て通知メールサンプル

(契約者がウイルス付きメールを送信した場合)

送信元(From): host-virus-check@secure-service.net

件名(Subject): メールウイルスチェック通知

本文:

お客様から送信されたメールにウイルスがみつかりました。
検出されたウイルスと処理状況は下記の通りです。

【ウイルス検出情報】

- ウイルス検出日時 : 2007/10/19 16:31:28
- 感染していたファイルの名前 : (ファイル名)
- 検出されたウイルスの名前 : (ウイルス名)
- ウイルス送信先メールアドレス : (メールアドレス)
- ウイルス感染ファイルの処理結果 : 削除
- 削除されたファイル名 : (ファイル名)

ウイルスチェックサービスご契約者の送信メールにウイルスが含まれているため
送信されたメール本文及び添付ファイルは削除されました。

パソコン等のウイルスを駆除した後で再度送信先へメール送信してください。

※ 本メールへは返信出来ません。

■受信者宛てメール本文サンプル

(契約者がウイルス付メールを受信した場合)

送信元(From): (受信メールの送信元)

件名(Subject): (受信メールの件名)

本文:

Information from virus check service

【Virus detection information】

- Virus detection time : 2007/10/19 17:21:47
- Infection file name : (ファイル名)
- Detection virus name : (ウイルス名)
- Sender mail address : (メールアドレス)
- Result : deleted
- The deleted file name : (ファイル名)

(受信メールの本文)

■ウイルス検出仕様

1.対応ファイル形式

実行ファイルの拡張子	DL? EX? ACM ADE ADP ADT AP? ASA ASD ASP AX? B64 BA? BIN BMP BO? CGI CC? CDX CEO CHM CLA CMD CNV CO? CPL CPT CPY CRT CSC CSS DAT DEV DOC DOT DRV EE? EFV EML FDF FMT FO? FPH FPW GWI HDI HHT HLP HT? HWD IM? IN? ION ISP ITS JAR JP? JS? LGP LNK LWP LIB M3U MBR MB0 MB1 MB2 MD? MHT MOD MPD MRC MS? NEW NWS OB? OC? OL? OUT OV? PCD PCI PD? PF? PHP PI? PL? PNG PRC QLB QPW QTC RAR REG RMF RTF SCR SCT SH? SIS SMM SPL SRF SYS SWF TFT TLB TSP VBS VB? VVV VWP VXD URL UNP WIZ WMV WP? WRL WRZ WS? X32 XML XRF XSL XTP XX? ZI? Z0M ZL? ZZZ 00? 386 3GR {?? GZ? TD0 TGZ ??_
アーカイブファイルの拡張子	ACE ARC ARJ B64 BIN BZ? CAB CHM COM EXE GZ? ICE JAR LZH NAP OUT PPZ RAR TAR TAZ TBZ TD0 TGZ ZIP Z?? ??_
圧縮されたファイルの拡張子	DL? EX? ACM ADE ADP ADT AP? ASA ASD ASP AX? B64 BA? BIN BMP BO? CGI CC? CDX CEO CHM CLA CMD CNV CO? CPL CPT CPY CRT CSC CSS DAT DEV DOC DOT DRV EE? EFV EML FDF FMT FO? FPH FPW GWI HDI HHT HLP HT? HWD IM? IN? ION ISP ITS JAR JP? JS? LGP LNK LWP LIB M3U MBR MB0 MB1 MB2 MD? MHT MOD MPD MRC MS? NEW NWS OB? OC? OL? OUT OV? PCD PCI PD? PF? PHP PI? PL? PNG PRC QLB QPW QTC RAR REG RMF RTF SCR SCT SH? SIS SMM SPL SRF SYS SWF TFT TLB TSP VBS VB? VVV VWP VXD URL UNP WIZ WMV WP? WRL WRZ WS? X32 XML XRF XSL XTP XX? ZI? Z0M ZL? ZZZ 00? 386 3GR {?? GZ? TD0 TGZ ??_
マクロを含むファイルの拡張子	DO? XL? ASD CDR CPT CSV D?B DIF DQY GF? GIM GIX GMS GNA GW? ICS IQY MPP MPT MSG MSO OLE OTM OUT PDF POT PP? PWZ QQY RQY RTF SH? SKV SLK UUU VS? WIZ WBK WP? WRI XML {??
スキャン対象の全拡張子	DL? EX? ACM ADE ADP ADT AP? ASA ASD ASP AX? B64 BA? BIN BMP BO? CGI CC? CDX CEO CHM CLA CMD CNV CO? CPL CPT CPY CRT CSC CSS DAT DEV DOC DOT DRV EE? EFV EML FDF FMT FO? FPH FPW GWI HDI HHT HLP HT? HWD IM? IN? ION ISP ITS JAR JP? JS? LGP LNK LWP LIB M3U MBR MB0 MB1 MB2 MD? MHT MOD MPD MRC MS? NEW NWS OB? OC? OL? OUT OV? PCD PCI PD? PF? PHP PI? PL? PNG PRC QLB QPW QTC RAR REG RMF RTF SCR SCT SH? SIS SMM SPL SRF SYS SWF TFT TLB TSP VBS VB? VVV VWP VXD URL UNP WIZ WMV WP? WRL WRZ WS? X32 XML XRF XSL XTP XX? ZI? Z0M ZL? ZZZ 00? 386 3GR {?? GZ? TD0 TGZ ??_ ACE ARC ARJ BZ? CAB COM EXE ICE LZH NAP PPZ TAR TAZ TBZ ZIP Z?? DO? XL? CDR CSV D?B DIF DQY GF? GIM GIX GMS GNA GW? ICS IQY MPP MPT MSG MSO OLE OTM PDF POT PP? PWZ QQY RQY SKV SLK UUU VS? WBK WRI

※「?」は、全ての記号、英数字が該当

2. 圧縮対応

対応している圧縮形式	ARC, ARJ, CAB, Cryptcom Diet, GZIP, Ice, LHA/LZH, LZEXE, Microsoft compression, PKLite, RAR, TAR, TeleDisk, WinZip, ZIP
多重圧縮への対応	32 重まで対応

3. 分割対応

分割ファイルへの対応	対応していません。
分割メールへの対応	対応していません。

4. その他

- HTML ウィルスに対応しています。
- Mac(Kanji Talk)上のウィルス(ネイティブなバイナリウィルス、リソースフォークに感染するウィルス)に対して、対応しています。
- Mac 上の MSOffice 製品のウィルスに関して対応しています。
- MS-Office 系文書に埋め込まれた OLE オブジェクトにも対応しています。



<http://www.mcafee.com/japan/>

本サービスは、マカフィー株式会社との業務提携により提供するサービスです。

McAfee、及び McAfee のロゴはマカフィー株式会社の登録商標です。

マカフィー株式会社及び株式会社 NTT ぷららは、本ページに掲載した情報により発生した、お客さまあるいは第三者の損害について一切の補償・賠償を行いません。

INTERNET SECURITY KNOWLEDGE

http://is702.jp/partner/16_h/

初心者の方にも簡単に理解できるよう、“見る”“体験する”ことにより、インターネットのセキュリティ対策を“学ぶ”ことができるポータルサイト『インターネット・セキュリティ・ナレッジ』はこちら！！